

NHK全国中学校放送

コンテストで優秀賞受賞!

8月20日に東京で開催された第30回NHK杯全国中学校放送コンテストで田川市立中央中学校放送部(21人)が制作した作品「おもかげを、胸に」が「アニメ番組部門」において、優秀賞を受賞しました。

先生の一言がきっかけ

受賞作品「おもかげを、胸に」は東日本大震災を題材にした全8分間のドキュメンタリー番組。授業で使用する震災学習資料が欲しいという先生の言葉がきっかけで5月から制作を開始しました。

中央放送部は、まず震災についての学習を始め、その後、福岡に移住してきた被災者に震災当時の話を聞いたり、復興支援活動を行っている団体の取り組みなどを取材したりしました。

被災地復興への思いを込めて

これらの取り組みを通して改めて震災と向き合い、被災地の人たちのために何かできないかと考えた同校放送部。その結果、「私たちは震災を忘れてはいないんだよ」というメッセージを伝えることが、被災地の人々を勇気づけるのではないかと考え、全校生徒113人に協力を依頼し、約6000

枚の絵を使った3分間のアニメーションを完成させました。

内容は津波で母親を亡くした中学3年の少年が、がれきの中から見つけたアルバムをめくり、母親の愛情を思い出し、将来に向かって一歩を踏み出すものとなっています。

生まれたばかりの姿や中学入学時の親子の様子など、色鉛筆で1枚1枚丁寧に優しいタッチで描かれた心温まる作品です。



↑優秀賞を受賞した中央中放送部3年のみなさん

中央中学校の生徒大活躍!

NHK全国中学校放送コンテストで優秀賞受賞!
少年の主張福岡県大会で優秀賞第1席獲得!

全校生徒で手に入れた優秀賞

実写であれば放送部だけで作成が可能なのですが、あえて手書きのアニメーションを取り入れ、作品を全校生徒で完成させることにこだわったという同校放送部。そのこだわりがこの作品のメッセージ性を強め、優秀賞受賞につながったのかもしれない。今回、優秀賞受賞を受けて、同校放送部部長の青柳百華さん(3年)は「全校生徒で協力して気持ちを込めて制作しました。被災地から田川市は遠いけど、震災を忘れてはいないんだよということを伝えられたと思います」と笑顔で話しました。

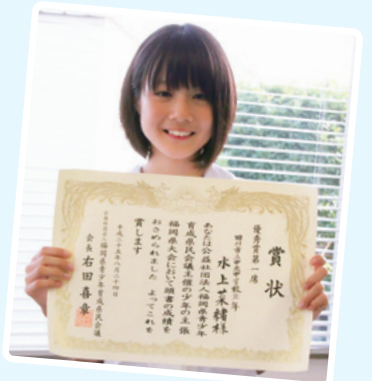
大会までの道のり

夏休みの宿題として作文を提出したところ、先生から少年の主張大会に出場してみないかと提案されたことが、大会に出場するきっかけと話す水上さん。

水上さんはもともと文章を書くことが好きで得意だということですが、人前で話すことは苦手なそうです。このことを克服するため、大会に出場することを決意し、国語の先生などから指導を受け、原稿の推敲とスピーチの練習を重ねました。

伝えたい思い

福岡県大会当日。会場には県内各地から15人の出場者が集まりました。「たくさん練習をしたので思ったよりも緊張はしませんでした」と話す水上さん。その言葉のとおり、どの出場者も素晴らしいスピーチを繰り広げる中、水上さんは最初の言葉から来場者の心を



↑賞状を手に喜びをかみしめる水上さん

つかみ、見振り手振りを交え、堂々とスピーチを披露しました。

今回、水上さんのスピーチの内容には、「自分の成長と自立。職場体験学習での体験を通じて、社会に出て人とつながりを持つためには、自分自身が成長しなければならぬことを学び、何事にも挑戦していきたい」という水上さんの熱い思いが込められた内容となっています。

今回の受賞を受けて、水上さんは「このような賞をもらえて、大変驚きました。とてもうれしいです。協力してくださった人たちに感謝します」と話しました。

8月24日に柳川市で開催された

「平成25年度(第35回)少年の主張福岡県大会」において、中央中3年の水上菜緒さんが第3位に相当する「優秀賞第1席」を獲得しました。

少年の主張福岡県大会で優秀賞第1席獲得!